

緊急報告

銅板に穴が

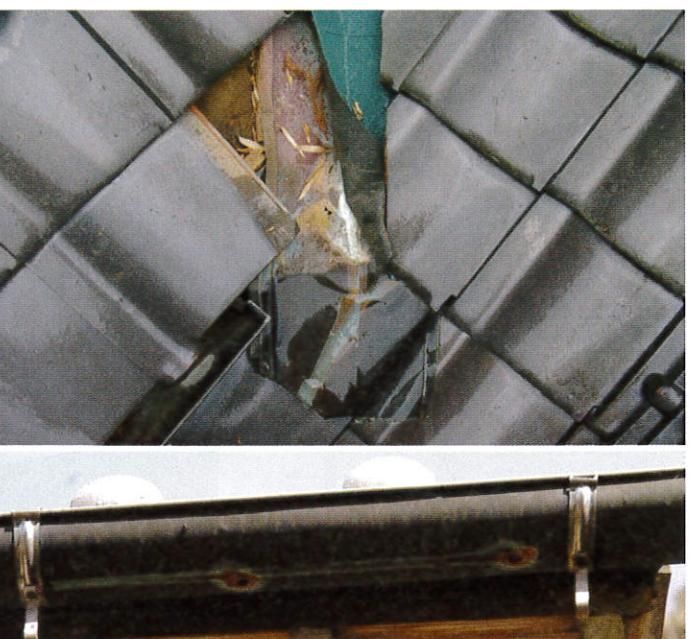
保川正治

その原因は

住夢家の地震に関する考え方

保川正治

ここ最近一年で四件起きた、屋根の銅板に穴が開いて雨漏り被害の事例をご報告いたします。その四件に共通することは、瓦屋根のお宅だつたことです。瓦屋根に銅板?と思われるでしょうが、瓦と瓦の接する場所(「捨て谷」と言います)に折つたり曲げたり出来る銅の板を使い、板金屋さんが加工し取り付ける雨仕舞いの場所に使われるものです。特に谷の場所は大量の雨水が集まる場所です。もし穴が開いてしまうと雨漏りの被害も甚大となります。ご覧のように銅の軒樋にも穴が開いています。



たして酸性雨だけで穴が開くのだろうか? そうだとしたら銅板屋根のお宅は穴だらけのはずですね。始めにも書きましたが銅板の穴は瓦屋根のお宅だけなのです。考えるに「雨と瓦が接した雨水が銅板に流れ込み、調べたところ、瓦の釉薬と酸性雨が反応して銅を溶かすという説もありました。瓦にも原因ありそうでね。釉薬は瓦の表面に光沢とセラミックの皮膜を施す際に使うようです。産地製造法は異なりますので概に全部の瓦に反応が出ることはないと想います。

対策は

ともかく雨漏りする前に銅板をチェックすることをお勧めいたします。高いところが苦手の方(ほとんどですね)はもちろん替わって点検いたします。住夢家のお客様は緊急に訪問点検を開始しております。尚お気になる方は無料でこの件のみで点検対応いたしますのでお声をおかけくださいね。

錆びなくて加工しやすいと言う理由で鉄板より高価な銅板を使ったのに残念な結果に遭つてしまふのは大変心苦しい限りではあります。が、当時では想像すら出来ませんでした。現在はステンレス板に替えるのが安全と思われます。

瓦の家が全部危ないという事ではないことを再度申し添えます。

忘れた頃に突然やつてくる地震。最近、たまに地震が起きますね。その都度「とうとう大地震がきたかな!」と思いませんか? いつでもおかしくないという情報が植え付けられているからでしょう。

建築を業としている限り地震と建物について勉強して対策を考え、お客様にとつて一番安全な方法を真剣に探して提供することはしなくてはならないことだと考えています。

お客様は家族の安全と命を守り、幸せな家庭を作り上げていく使命をお持ちだと思います。しかししながら、地震についてはあまりにも現実味がない「いつくるかわからない地震にお金をかけられない」という意見もありますが、地震対策をしていない建物は非常に危険です。人間の死が係わってくることであり耐震対策はするべきだと思います。

夢家は最新の地震対策を研究開発し、最新情報を紹介して案内に励みます。



住夢家のイベント情報



スムカ 住夢家くらぶたまねぎ収穫体験

2010年も5月3日にたまねぎ収穫体験を開催します。お楽しみに!!



住夢家くらぶ 入会金無料です。入会していただいた方は住まいのお困り無料相談&イベント情報をお届け致します。



とくとくふえあ



2009年10月24~25日

木更津アカデミアホールにて
耐震シェルター「レスキュールーム」の紹介を致しました。

レスキュールームは住宅の一部屋に鉄骨の六面体を組み込むことにより、安全な一部屋が確保できるとともに部屋そのものが家全体を強固に支え、家の耐震強度を上げることができます。今までの耐震補強は家中丸ごと耐震工事をしなくてはなりませんでしたが、一部屋だけで工事が済み、短時間に安価で出来るのが特徴です。